

## ■■■演壇にて■■■

皆さん、こんにちは。三度のメシより佐渡が好き!!! 室岡啓史でございます。人生三度目の一般質問。政風会幹事長として、『なんでも提案団』として通告に従い一般質問をいたします。

なお、資料の PDF データは、『室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会』オフィシャルサイトにアップしておりますので、テレビをご覧の方は是非ともご確認ください。

佐渡の農山漁村の生業を大切にし、滞在型観光でかけがえのない時を過ごす『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現にむけて 7 点について質問します。

### ▼【1】毎年 3 月 10 日を『心の佐渡市民の日』（仮）とする条例制定について

前回の一般質問でも取り上げさせていただきました。世界遺産登録に向けた佐渡市民の意識醸成の戦略として、例えば、3 月 10 日を『心の佐渡市民の日』（仮）として、佐渡市民や観光のお客様による佐渡金銀山の魅力の再発見、知識の共有、郷土愛醸成の日の一日として、『お客様感謝デー』を執行するべきではないかと考えます。

その日だけは、郷土文化施設や温泉施設を佐渡市民の方や佐渡に観光にいらっしゃるお客様に対して無料開放し、地元のガイドの方による集落や文化の魅力の説明を受けたり、温泉に入り心も体も温まる一日とする。また、佐渡に関する書籍を読んでもらうように力を入れる一日ともして、全島の図書館の利活用について今一度考える機会とする。無料開放による費用算出（、実施による経済効果）については後ほど議論したいところです。佐渡市の見解をお聞かせください。

### ▼【2】農林水産業の再隆盛戦略について

佐渡は自給自足のできる島の一つと言われます。農林水産業にさらに力を入れ、ブランド化を図るとともに、稼げる農林水産業へと発展させるべきだと考えます。

例えば農業では、『朱鷺と暮らす郷米』や 6 集落の『棚田米』の生産・販売については大いに評価に値する考えます。さらに国仲平野のナンバーワン米作り戦略を進め、一方で大佐渡・小佐渡のオンリーワン棚田米作り戦略を推進するべきと考えます。

林業では、佐渡島内の樹木は伐採の適齢期を迎えていると聞きます。森林組合との連携により伐採と植林を推進し、佐渡産木材の建材や家具等への利活用や端材は熱源や発電源として木質バイオマスを推進する。例えば、佐渡市の保有する財産区から始める森林資源の利活用。佐渡市の木アテビをブランド化し、建材はもちろん、アロマオイルを生産する等、ひいては佐渡の森のブランド化を進める必要があると考えます。

水産業では、獲る漁業と併せて、育てる漁業を進めるべきと考えます。牡蠣養殖は最盛期から比べておよそ半分まで生産量が落ちていると聞きます。また、佐渡のソウルフードいごねりの原料であるエゴ草が少なくなっていると聞きます。そこで、水産認証（MSC 漁業認証 / ASC 養殖場認証）を取得し、持続可能な安心安全の佐渡ブランドを確立するべきと考えます。佐渡市の見解をお聞かせください。

▼【3】佐渡まるごとブランド化戦略と佐渡アイランド民間所得倍増計画

および佐渡市職員の給与と佐渡市議会議員の報酬について

佐渡市職員の平均年収が約 533 万円、佐渡市議会議員の平均年収が約 421 万円、(算出方法にもよりますが、)佐渡市の平均所得が約 241 万円と算出されています。佐渡市において、民間所得が佐渡市職員の半分程度の水準に留まっているという状況は、改善すべき課題であると考えます。そこで、先述のとおり、農林水産業を軸とした佐渡まるごとブランド化戦略を推進することで、佐渡アイランド民間所得倍増計画が実現できないかと考えます。

江戸時代から平成にかけて佐渡において産出された金銀銅：合計約 5,380 億円分の価値が佐渡⇒島外に出ていったと考えることができます。その価値を観光や地産外商の取り組みを推進し、島外から回収する。

佐渡市の年間島内総生産 1,888 億円を 2,000 億円超えとなるように増額させ、2060 年 37,000 人程度まで人口が減った時までには民間所得を倍増させる『サドノミクス』を敢行する。そのためにリーサス地域経済分析システムの利活用や今ある建築物を改修して活用するリノベーションアイランド化推進をするべきと考えます。佐渡市の見解をお聞かせください。

▼【4】シマイルのメディア利活用について

佐渡市として取り組む移住定住を応援する情報誌『シマイル』。ネーミング、内容ともに素晴らしい取り組みの一つと考えます。しかしながら、現状では紙媒体のみの情報発信となっており、WEBや他のメディアでは『シマイル』ブランドが活用されているとは言いがたい状況です。そこで、メディアミックス戦略、クロスメディア戦略として情報誌『シマイル』を通じた佐渡の魅力発信に努めるべきと考えます。また、佐渡暮らしセミナー”S ターンのすすめ”についてもブランドイメージ醸成のためにネーミングを統一するべきと考えます。佐渡市の見解をお聞かせください。

▼【5】佐渡ならでは教育特区の可能性について

佐渡市内の小中学校において、いわゆる学級崩壊といった事象も発生していると聞きます。不登校やいじめの問題、学力低下、本離れ等、教育分野の課題は山積しているといっても過言ではありません。基礎学力の向上や、佐渡や佐渡の人を好きになる佐渡学のさらなる推進のため、抜本的な対策が必要だと考えます。例えば教育特区を取得し、九九のみに留まらず、インド式算数の 20×20 までを暗記する取り組みを行う。あるいは、国語・英語・佐渡弁の 3 言語の教育を行い、実質的な三か国語の習得を目指すといった提案です。これにより理系・文系どちらの道に進んでも社会で活躍できる人材育成を目指すべきではないでしょうか。また、小規模な学校から始めるコミュニティスクールづくりを推進し、集落の方と連携して勉学と郷土芸能の習得を両立させる文芸両道の推進。シリコンバレーと佐渡島内の学校とをネット回線でつないで、特別授業を行う等についてグローバル人材育成に力を注ぐべきだと考えます。佐渡市の見解をお聞かせください。

▼【6】佐渡空港・大学誘致の実現可能性について

去る7月、産業建設常任委員会として行政視察に行つて参りました。山形県鶴岡市では、高度な研究機関や関連産業を集積する鶴岡バイオクラスターの成功事例を目の当たりにしました。おいしい庄内空港まで車で18分という好立地を生かし首都圏と鶴岡とがつながり、慶応義塾大学先端生命科学研究所の誘致および公設民営の研究施設鶴岡メタボロームクラスターの形成、ベンチャー企業3社の誕生といった夢のような計画が実現されておりました。

佐渡市においても県営空港2,000m化を推進するのであれば、大学や研究機関を誘致することをセットとして考えながら、経済効果の算出を行い、夢を描くというプロセスが必要だと考えます。佐渡市の見解をお聞かせください。

▼【7】仕事に取り組む姿勢について

佐渡市職員＝公務員として仕事をするにあたっては、『説明責任』と『遊び心』を忘れないことが大切なのではないかと考えます。『説明責任』については言わずもがなですが、市民の皆さんに分かりやすく説明をして、ご理解をいただく。書面の場合は、文字のみではなく、図や写真、表といった視覚にも訴える分かりやすい資料づくりをもって、オフィサーとしての職能を果たすべきであると考えます。『遊び心』については、例えば情報発信ツールとしてのWEBサイトが、情報はアップしているものの、デザインや見る人の立場を忘れたかのような部分が多数見受けられます。どうせやるなら楽しく仕事をするというマインド醸成のためにも『遊び心』を持って、仕事をするべきであると考えます。

今年度も頻発している不祥事ですが、佐渡市職員の行動規準及び責務等に関する条例の施行やコンプライアンスハンドブックの共有といった取り組みを行っているにも関わらず、根絶には程遠い状況だと言えます。抜本的な対策としては、いつでも相談できる風通しの良い労働環境づくりが必要であり、不満やストレスを溜めないためのガス抜きが必要でしょう。これも『ばかまじめ』ではなく、『遊び心』を持って仕事をすることで、ひいては不祥事の根絶ができるのではないかと考えます。

また、市民窓口については昼間の電気を消さない対策等、明るい雰囲気労働環境づくりにご尽力のことと思います。しかしながら、例えば電話対応の品質向上については、これから力をいれるべき課題と感じます。コールセンターでの就業経験を活かし、佐渡市役所の入電対応用トークスクリプトをご用意しましたので、後程電話対応について議論したいところです。佐渡市の見解をお聞かせください。

以上で、一回目の質問を終了します。

=====

■■■■2 回目の質問■■■■

◆私は、佐渡の①農山漁村集落を巡りながらかけがえのない時を過ごす滞在型観光、そして②農山漁村集落の生業を大切に守り育て、生き生きと暮らせる地域づくりの仕組みとして、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指して参ります。集落のチカラは佐渡のチカラです。サービス開始は数年以内にできるとしても完成するのに 50 年はかかると見込んでいる壮大な構想です。

イメージ・世界観の共有

【床面】情念＝三度のメシより佐渡が好き！！、心の佐渡市民

【基壇】ビジョン＝集落多様性を世界に誇る佐渡アイランド集落ツーリズム構想の実現

政治信条＝佐渡が好きな人の最大多数個人の最大幸福

座右の銘＝温故知新

【机面】数百の施策があり、各課が担当。総合政策監や総務課、総合政策課、財務課等が横串を刺す。副市長が二つに分けて担当し、市長がすべてを包括する。

=====

▼【X】佐渡市と山手線について

国仲平野の国道と南線の環状道路は山手線のごとし

関係性

34.5km

歩くことは訳ない、むしろムラ歩き、ノルディックウォーキング

=====

~~~~~

税金でメシを食うということは常に説明責任を果たさなければならない、ということを最近とても強く感じます。市民の皆さんに分かりやすく物事を伝え、さまざまな事柄についてご理解をいただくことによってのみ佐渡の明るい未来はつくられると確認しております。

佐渡において〇〇問題という風に何事も「問題化」し過ぎる風潮が強いように思います。いける！というプラスの確信をまずは持つことが必要だと考えます。そして、佐渡市民の皆さん、佐渡市議会、佐渡市長、佐渡市執行部が、大野亀のような日本最大級の一枚岩となって、皆さんで佐渡の明るい未来をつくって参りましょう。是非とも『佐渡アイランド集落ツーリズム』を一緒にやりましょう。これで私の一般質問を終わります。お時間ありがとうございました。

=====